

News Release

Hyundai Motor Group と SK On が、 米国に EV バッテリーセルの生産合併会社を設立

- Hyundai、Kia、および Hyundai Mobis の取締役会が、SK On とのバッテリーセルの合併事業を承認
- 投資総額は 50 億ドルで、Hyundai Motor Group と SK On がそれぞれ 50%ずつ出資予定
- 米国ジョージア州パートウ郡に EV バッテリーセル工場を建設し、2025 年後半からバッテリーセルの生産を開始予定
- 新工場は、30 万台の EV の生産に十分な、年間 35GWh の EV バッテリーセルを生産
- この合併会社は、米国での EV 生産のためにバッテリーを安定的に供給することで、当グループの電動化への取り組みを加速

ソウル、2023年4月25日 – Hyundai Motor Group は、パートナーの SK On と米国で電気自動車 (EV) のバッテリーセルの生産合併会社を設立する計画を発表しました。

Hyundai Motor Group の Hyundai Motor Company、Kia、および Hyundai Mobis は、それぞれの取締役会において、この計画を承認しました。北米向け EV バッテリーの供給を確保するため、当グループはすでに 2022 年 11 月に、SK On との覚書に署名していました。

合併会社への投資総額は約 50 億ドルで、当グループと SK On がそれぞれ 50%ずつ出資します。

両社は、この合併会社を通して、Hyundai Motor Manufacturing Alabama、Kia Georgia、Hyundai Motor Group Metaplant America などの Hyundai Motor Group の米国生産拠点に近いジョージア州パートウ郡に、EV バッテリーセル工場の設立を計画しています。

新工場は、30万台のEVの生産をサポートするのに十分な、年間35GWhの生産能力を備えており、2025年後半からバッテリーセルの製造を開始する予定です。この工場で生産されたセルでHyundai Mobisがバッテリーパックを組み立て、Hyundai、Kia、およびGenesisのEVモデルを生産するHyundai Motor Groupの米国生産拠点に供給します。

この合併会社は、安定したバッテリーの供給により競争力の高いEVモデルの生産をサポートし、Hyundai Motor Groupの電動化への取り組みをさらに加速させ、米国市場におけるEVリーダーとしての地位を強化します。

SK OnはHyundai Motor Groupの戦略的パートナーです。両社はこれまで、Hyundai IONIQ 5、Kia EV6、Genesis GV60など、世界的に有名なEVモデルの生産において協力してきました。

Hyundai Motor Group について

Hyundai Motor Groupは、モビリティ、鉄鋼、建設に加え、物流、金融、IT、サービスを軸としたバリューチェーンを構築するグローバル企業です。全世界で約25万人の従業員を擁する同グループのモビリティブランドには、Hyundai、Kia、Genesisが含まれます。私たちは、創造的思考と協調的コミュニケーション、そしてどんなことにもチャレンジする意志を持ち、より良い未来を創造するために努力しています。

Hyundai Motor Group についての詳細は、こちらをご覧ください：

<https://www.hyundaimotorgroup.com>